

ドバイ日本人学校

学校だより

第4号

熱 砂

平成28年6月14日

発行

学校長 岡村 修

日本では先月の沖縄地方を皮切りに九州、中国・四国、東海、関東地方と南から梅雨入りし先日東北地方も梅雨入りが発表されました。

暑さと同時に湿度の高い蒸し蒸しとした日が地域によっては1か月以上続きます。熊本地震のあった地域では復旧作業も大変だと想像します。

ここドバイでも日中は40℃を越す日がやってきました。少々湿度の高い日はありますが雨は降りません。私たちもドバイの気候に慣れたとは言え、健康には一番気をつけたいものです。子どもたちは遊んだあとはいっぱい汗をかいています。特に熱中症には気を付けて水分補給をするように声掛けをしています。水分補給も大切ですがしっかり食事をして十分に栄養を取ること大切です。暑い夏、体調維持に努めましょう。

ラマダーン日課が始まりました

6月6日(月)から「ラマダーン」が始まりました。7月初めまで1か月続きます。

「ラマダーン」はヒジュラ暦(アラブの太陰暦で1年が約354日)の9番目の月ということで毎年11日ほど開始がずれていきます。

「ラマダーン」期間中は、イスラム教徒(ムスリム)が行わなければならない五行(信仰行為)の一つで、夜明けから日没まで断食があります。それは貧しい人も富める人もみんな同じです。敬虔なムスリムの人たちにとっては、一年で最も神聖な月で、断食という厳しい修行を通じてみんなで信仰を深めることになります。

「ラマダーン」については各学級で話し合ったり、ムスリムの先生の話の聞いたりしてどうやってラマダーン期間中に生活したらよいか理解を深めています。

ムスリム以外の人に断食を勧めることはありませんが、公共の場所での飲食は原則禁止されています。本校にもムスリムの方がいますのでその人たちのことを考えて行動することが大切だと思います。

「ラマダーン」中の飲食については気を使いますが私たちの今住んでいる国を理解するとともに海外ならではの貴重な経験でもあります。児童生徒にとりましてここドバイで生活することは、灼熱の暑さを体験するとともに、宗教による生活の違いなど貴重な体験になることと思います。

「ラマダーン」期間中はドバイにあるすべての学校はドバイ教育局(KHDA)から子どもたちの授業時間など指示があります。

学校ではこの期間中は教室で昼食をとることにしています。水筒水も教室で飲むように指導しています。

「ラマダーン」期間中は13:30の一斉下校となりますのでご協力をお願いします。

まもなく音楽発表会

今年の音楽発表会は以前にお知らせさせていただきましたように学校の都合で一週間遅らせて6月17日（金）に開催します。予定を変えさせていただいたことをご迷惑をおかけした皆様にはお詫び申し上げます。



今年の音楽発表会のスローガンは「響けみんなのハーモニー 世界に届けメロディー」です。現在小中学部とも各ブロックに分かれて最後の仕上げに入っています。歌声もとてもきれいに聞こえてくるようになってきました。合奏も音があってきました。仲間と心を通わせて創りあげるとともに仲間とのつながりを大切にしています。一つの行事で子どもたちが成長できることは素晴らしいものです。今年も多

くの皆様に成果を見ていただければ幸いです。

6月17日（金）

開会9時20分

閉会11時10分 予定です。

（多少時間がずれ込むことがありますがお了承願います）

水泳学習が後半に入ります

今年の水泳学習も前半が終了し、後半に入ります。（全8回）毎回児童生徒はそれぞれ自分の目標に向かって頑張っています。

今年も最後の水泳学習は成果の発表の場として7月4日（月）には水泳大会を予定しています。多くの保護者の皆様のご参観をお待ちしています。

熊本地震募金



ご協力ありがとうございました

先の熊本地方を襲った大地震につきまして本校でも代表委員会と国際交流委員会を中心に保護者や児童生徒に募金を呼び掛けて取り組んできました。

皆様のご協力のおかげで合計2561,50ディルハムが集まりました。

6月5日（日）に代表の小池向日葵さん、前田美咲さんが在ドバイ総領事館を訪れて道上総領事に直接募金をお渡しすることができました。この募金は政府を

通じて被災地に送っていただきます。

遠くドバイから児童生徒や保護者の思いのこもった募金が、熊本の被災地に届いて復興に役立つことを祈っています。